

署名簿提出

(報告)

刻む会

たよ



NO. 2

91.7.15

長生炭鉱の〃水非常〃を

歴史に刻む会

(代表 山口 武信)

宇部市鍋倉町2-2(澄田方)

☎0836-21-8238

署名名運動

継続中

去る七月三日午前十時より
 県庁記者クラブで、約一時間
 十数名の記者と会見、こちら
 側は山口武信・藤井舒夫・陣
 内厚生・澄田亀三郎・それに
 この度の仲介の労をとって下
 ざった佐々木明美県会議員。
 記者達は熱心に質問。ここ
 らは山口、澄田が主として対
 応しました。その様子は、そ
 の日夕方のTYS、KRYテ
 レビニュースと翌日の各紙朝
 刊記事の通りです。
 記者会見の後、総務部国際
 交流室長寺田幹生氏ら三人と

面談、ピーヤ保存要請の署名
 一二五〇名分を手渡し、①ピ
 ーヤを除去する動きがあつて
 もそれに同意しないこと、②
 ピーヤの所有者を県として
 も調査すること、③ピーヤそ
 ばの道路敷地内に碑石乃至銘
 板を建立する場合は許可して
 欲しいこと、の三点を要望し
 ました。

これに対する回答は①現地
 は漁港の一部になっており、
 その管理は宇部市がしている。
 除去して欲しいとの要望はど
 こからも出ていないと思う。
 ②については関係部課と検討
 してみる。③あの道路の管理

責任者は宇部市である。とい
 うことでした。

午後からは、宇部市に行き、
 中村市長は選挙前で多忙につ
 き会えないということで、小
 笠原広報公聴課長に会い、署
 名簿を手渡し、県に対してと
 同様のことを要望しました。
 いずれも「検討してみる」と
 いうことでした。そのあと記
 者クラブに寄り、七、八名の
 記者と会見。NHKも取材に
 きており、それが翌朝のニユ
 ースになって放映されました。
 NHKは、歴史を正しく伝え
 るために取り組んでいる市民
 運動だと報道していました。
 何が正しいことなのか判らな
 いご時世ですが、NHKとし
 ては、朝鮮植民地支配に対す
 る謝罪の市民運動とは報じ難
 かったのかも知れません。

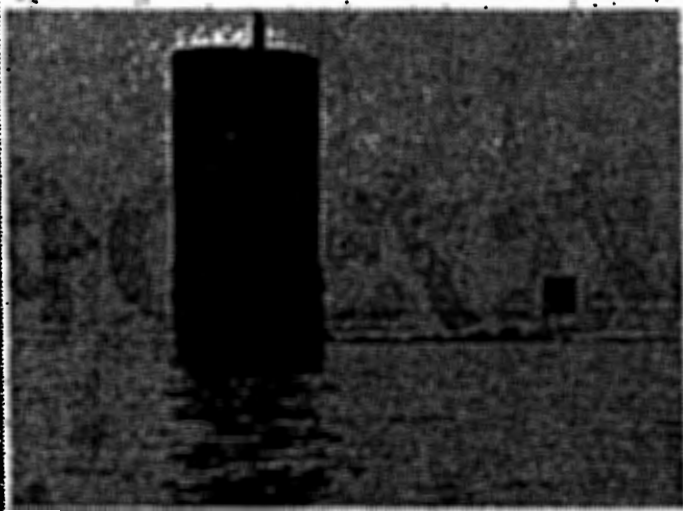
「ピーヤを残して」

長生炭鉱水没事故

1250人分の署名添え

「歴史に刻む会」県に要請

宇部市西岐波の長生海岸に残してと長生炭鉱の、水没事故の跡(ピーヤ)非常を歴史に刻む会(非)が、多くの朝鮮人が亡くなった。「悲劇の歴史を語りぬためにも、ピーヤを署名を添えて要請した。寺



宇部市西岐波の長生海岸に残る2本のピーヤ

田理事は「関係部局の意見を聞いてみたい」と答えたにとどまった。

昭和十七年二月三日、同炭鉱で水没事故、水非常、が起り、海底の炭鉱で働いていた百八十三人が犠牲になった。このうち百三十一人が朝鮮半島から「募集」に応じて同炭鉱に来た人たち。現在も遺体は引き揚げられていない。

五十七年四月には、殉難碑が炭鉱跡地に建立され、毎年慰霊祭も行われている。だが、ここ数年で坑口や善き橋(やへら)などが撤去され、炭鉱跡としては二本のピーヤが残るだけ。

この日、山口代表は「日本が植民地朝鮮にしてきた不当な行為を忘れないために」とのピーヤの保存の証言集を含む資料の収集、謝罪を含めた文言と犠牲者全員の氏名を刻んだ碑の建立への協力を要請した。

寺田理事は「人権を無視した強制労働は大変な問題と日本人の一人として思う。対応は協議してみる」と答えた。

(表紙の続き) ↓

この度の署名簿提出運動により、ある程度、私たちの運動のさがみえてきたように思います。ぼつぼつ、碑石乃至銘板に刻む文言や犠牲者全員の氏名(できるだけ日本名でなく本名で残したい)の確定作業及びその費用の募金方法の検討に入らなければと思っ

た次第です。
なお、ピーヤ保存の署名運動は継続中です。できるだけたくさん集めて事務局にお届けください。署名をお集めの際、住所氏名はご本人に、しかも「カ」でなく全部書いてもらい、印のない場合はサインをもらってください。頼尊 偉三郎氏にも、なるべく早く署名簿を手渡すことができるよう、もっかその方法を模索しております。(澄田記)